

多摩市の認知症施策と取組状況（※ 12月末時点）

資料3

認知症施策推進大綱（2019.6.18） 『5つの柱』

第8期 多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業

国の「認知症施策推進大綱」に示された具体的な施策		取組名	実施状況・評価等	
認知症	○認知症施策全体	認知症地域支援推進員年間目標	◎	予定通り実施
		認知症地域支援推進員会議の開催 （地域包括支援センターのアクションプラン実施報告及び、認知症施策について、検討を行う）	◎	予定通り実施（月1回開催）
		認知症施策推進協議会の設置・開催 （認知症高齢者及びその家族が住み慣れた地域で共に生活を送ることができるよう支援することを目的として、認知症高齢者を支援するための施策の推進に関し、関係者で協議するための協議会）	◎	予定通り開催（年2回） 令和5年9月15日 令和6年1月23日
①普及啓発・本人発信支援				
症 の 人	○認知症に関する理解促進 ・認知症サポーター養成の推進 ・子供への理解促進 ○相談先の周知 ○認知症の本人からの発信支援 ・認知症の本人がまとめた「認知症とともに生きる希望宣言」の展開	9月の認知症を知る月間（認知症普及啓発強化月間）の実施	◎	予定通り開催 （関戸公民館での展示、図書館との連携、各地区でのイベント開催等）
		多摩市認知症ケアパス（普及啓発のためのリーフレット）の作成・実施	○	令和6年度の改訂に向けて準備開始
		認知症普及啓発講座「あしたの会」 （認知症の正しい知識の普及啓発および、認知症本人の発信の場として当事者会・家族会と共催で開催）	◎	予定通り開催（11月29日開催 113名参加）
		認知症サポーター養成講座 （認知症の正しい知識の普及啓発および見守り者「認知症サポーター」を増やす）	◎	予定通り実施（23回開催、389人参加）
②予防				
や	○認知症予防に資する可能性のある活動の推進 ○予防に関するエビデンスの収集の推進 ○民間の商品やサービスの評価・認証の仕組みの検討	住民主体の通いの場の拡充 （近所de元気アップトレーニング・地域介護予防教室の拡充）	◎	予定通り実施 〔 介護予防教室：18団体 近所de元気アップトレーニング：42団体 〕
③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援				
そ の 家 族 の	○早期発見・早期対応、医療体制の整備 ○医療従事者等の認知症対応力向上の促進 ○医療・介護の手法の普及・開発 ○介護サービス基盤整備・介護人材確保 ○介護従事者の認知症対応力向上の促進 ○認知症の人と介護者の負担軽減の促進	初期集中支援チーム事業の実施 （適切な医療・介護に繋げるための介入、地域ケア会議地域ケア会議へのスーパーバイズ、認知症の普及啓発の協力）	○	実施ケースとしては1件であるが、チーム員や地域ケア会議のスーパーバイズの強化、講座の講師やコラムの執筆等普及啓発での連携を行い、内容について拡充。
		もの忘れ相談事業の実施（認知症検診）	○	予定通り実施（8月～3月実施、120人受診 ※11月末実績） 案内通知の郵送者数を5学年に増加 受診者数の人数が伸びず課題あり
		家族会・本人会との連携・支援 （家族会・本人会の後方支援、認知症普及啓発講座共催…等）	○	認知症普及啓発講座あしたの会を開催し、当事者・家族の発信の機会となった。 当事者会と家族会にオレンジパートナーの参加実績あり。（11人） 認知症サポーターステップ講座のグループワークを家族会と協同で行った。
		認知症疾患医療センターとの連携（認知症普及啓発の協力等）	△	普及啓発の為に催しは開催したが、認知症疾患医療センターとしての役割の周知や、相談及び連携体制の整備が整っていない。
		高齢者等位置情報サービスの実施（小型端末の貸与）	◎	予定通り実施（20人）
④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援				
視 点 の 重 視	○バリアフリーのまちづくりの推進 ○移動手段の確保の推進 ○交通安全の確保の推進 ○住宅の確保の推進 ○地域支援体制の強化 ・地域の見守り体制の構築支援 ・見守り・探索に関する連携 ・地方自治法等の取組支援 ・ステップアップ講座を受講した認知症サポーターが認知症の人やその家族への支援を行う仕組み（「チームオレンジ」）の構築 ○認知症に関する取組を実施している企業等の認証制度や表彰 ○商品・サービス開発の推進 ○金融商品開発の推進 ○成年後見制度の利用促進 ○消費者被害防止施策の推進 ○虐待防止施策の推進 ○認知症に関する様々な民間保険の推進 ○違法行為を行った高齢者等への福祉的支援	認知症サポーターステップ講座の開催 （認知症サポーター養成講座修了者を対象に、認知症の方への対応等応用講座。「オレンジパートナー」への登録者を増やす）	○	3年ぶりに認知症サポーターステップ講座を開催。（3回、参加41人） オレンジパートナーを増員することができた。 今後、各地域で開催できるように講座の拡充を図る。
		オレンジパートナー活動 （認知症サポーターステップアップ講座修了者に対して、認知症施策や認知症当事者と共に活動可能な協力者「オレンジパートナー」の増員と活動の支援）	○	オレンジパートナーを増員し、当事者会と家族会活動への参加実績あり。 今後は、ニーズを聞きながら活動について拡充を図る。（現：32人）
		チームオレンジの構築 （オレンジパートナーと認知症本人・家族が共に活動を行うチーム。チームオレンジ設置までの仕組みづくりと支援）	△	オレンジパートナーが参加することとなったので、当事者会をチームオレンジとして1つ設置。 多摩市版チームオレンジの在り方や運営については整備が必要。
		若年性認知症への支援 （専門職への研修・相談先の周知、若年性認知症総合支援センターとの連携）	△	多摩若年性認知症総合センターと連携し専門職向けに研修を実施。 若年性認知症に関しての実態把握が不十分である。
		認知症カフェの後方支援	△	認知症交流会兼他市認知症カフェの見学会・交流会を実施。 認知症カフェ側のニーズや、役割について調査が不十分である。